



# 森林ボランティア 第5号

兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

## 地球の自然はどうなるの？（私たちの生活はどうなるの？）

ナシオン創造の森育成会 理事長 小西一郎

地球が誕生して46億年。ヒトが誕生したのはたったの20万年前。以来、ヒトは太陽からのエネルギーだけで生活してきました。しかし、239年前から、地球が貯蓄していた過去の遺産・化石燃料を使い出し始め、最近では未来遺産・原子力をも使うようになりました。これだけでも、タイトル「地球の自然はどうなるの？」と考えたくなるでしょ？



地球には太陽光のエネルギーで光合成をするたくさんの植物のお蔭で、私たちヒトも生きてきています。現在の技術では、人工的に光合成をして植物生育を未だできません。なのに今、ヒトは植物の生育環境を壊し、森を放置しているために、健全な森が急速に減少し、そこで生きている動物や微生物までもが影響を受けています。このように自然や森に恩恵を感じなくなった私たちヒトの将来も心配になってきます。

兵庫県ではこのトレンドをいち早く政策に反映させ、平成14年から「県民総参加の森づくり」の合言葉の下、「新ひょうごの森づくり」を推進。現在ではその「第2期対策」が力強く推進されています。

私たちの兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会（以下、ボラ協）の会則第2条（目的）には、「・・・、森林ボランティア活動の輪を社会全体に拡げ深めていくことを目的とし、もって県民総参加の森づくりに寄与する・・・」と定めて、県の戦略的課題「県民総参加の森づくり」の実現に寄与しているところです。

ところが最近、森林ボランティア活動という響きが陳腐化しつつあります。ボラ協構成団体ではボランティア人数の減少と高齢化が進んでいます。ボラ協構成団体の足腰は弱くなっているのです。

この際、前（第4）号表紙記事の通り、先ず、足元の問題、ボラ協構成団体の会員数の減少・年齢の高齢化をみんなで分析して対策を考えねばなりません。

それには、何故、ボランティアの数が減少するのか？これは普通のヒトが森林ボランティア活動に魅力を感じなくなったからです。さあ、ここからです。なぜ、魅力を感じなくなったのか？この分析が最も本質的なところでは、「普通のヒト」とは、今まで森林ボランティア活動に関わりがなかったヒトを指します）

筆者は、次のように考えています。普通のヒトは、便利で豊かで楽しい現在の生活が将来もずっと続くと思っ込んでいます。「地球温暖化」・「生物多様性の低下」・「自然災害の巨大化」・「エボラ熱流行」、など地球表層の異常現象は自分たちの生活とは直接無関係だと思っているところに根本の原因がありそうです。要は、これらの現象が自分の生活にどのように影響してくるか、情報が少なく、予想しない（できない？）のです。

このように考えると、普通のヒトたちがこの異常現象から、今後、「地球の自然はどうなるの？」、「私の生活は大丈夫なの？」との関心を抱くような機会または抱く仕掛けを作らねばなりません。そして、『みどり豊かな森林を育てることこそが唯一の方法』に希望を持てるような、最終回答を論理的に導く活動が必要です。

この活動こそが、今やらねばならないボラ協の活動目的（森林ボランティア活動の輪を社会全体に拡げ深めていくこと）ではないでしょうか。これらの活動を世論的に盛り上げるには、行政との参画・協働の精神で、我々各地の森林ボランティア団体はその広告塔となって、自分たちの活動結果を定量的に効果あることを更に積極的に宣伝発表することが必要だと思っっています。



8月 活動地隣接地域のサマーフェスティバルに参加し、会員が楽しく作ったクラフトを安価に提供しました。

# ひょうご森のまつり2015

1956年から毎年開かれており、今年で59回目となる「ひょうご森のまつり」。今年は、上郡町山野里で開催されました。朝から雨天でしたが、式典中は運良く雨もやみ多数の参加者で賑わいました。

当兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会も協力団体として名を連ねており、各森林ボランティア団体の紹介パネルやのぼり旗を設置し、参加者に我々の活動を紹介しました。式典では「ひょうご森づくり活動賞」の表彰や森林ボランティア団体の活動報告などが行われました。

日時 平成27年11月8日(日) 10:00~15:00  
場所 上郡森林体験の森(上郡町山野里)  
主催 兵庫県・上郡町・(公社)兵庫県緑化推進協会



活動報告の様子

主な内容(当協議会関係)

- 知事、上郡町長の挨拶のあと、各種表彰の中で「ひょうご森づくり活動賞」の表彰があり、「林田町里山会」と「かぐや姫・竹林コンサート実行委員会」の2団体が県知事から表彰を受けました。
- 当協議会会員がのぼり旗をもって登壇する中、桑田会長が森林ボランティア活動についての報告を行いました。
- 当協議会ブースにおいて会員団体の紹介パネルなどを展示し、我々の活動のPRを行いました。



森づくり活動賞表彰式(右から2, 3人目)

## ひょうご森の日イベント

平成17年10月に全国育樹祭が兵庫県で開催されたことを契機に、毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と定め、この日を中心に森づくりイベントを開催しています。「森の日」を中心とした県下各地のイベントを通じ、森の良さや森林整備の重要性を多くの人に発信し、森づくりへの参画を促すことを目的に、今年度も各ボランティア団体が、ホームグラウンドでの整備体験など多様な催しを開催しています。

そのほかに、代表イベントとして、やしらの森公園の「やしらの森の収穫祭」に当協議会も参加し、森の楽しみを伝え、森へ誘うような事業として、森の恵みを使った工作教室(ウッドバーニング、葉脈しおり、木工クラフト)やパネル展示による活動報告を行いました。

当日は心配された雨も降らず、時折日差しがのぞく行楽日和となりました。

多くの方がやしらの森公園に来園され、当協議会ブースには100名を超える子どもたちが訪れて、木に親しんでいただき、森林ボランティアについてPRすることができました。



工作教室体験風景

# ひょうご森づくり活動賞

森づくり活動を通じて、森林・里山整備及び地域住民との交流や人材育成を推進し、緑豊かで住みよい県土づくり、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体に対し「ひょうご森づくり活動賞」を贈呈することにより、広く県民の森づくりへの参加意識の高揚を図り、さらに市民活動の輪を広げると共に地域住民、企業、行政等との活動を促進することを目的とし、平成23年9月から施行されている賞です。

平成27年度は次の2団体が受賞されました。

## 林田町里山会（姫路市林田町）

林田町は姫路市の北西部に位置し、野山に囲まれ田園風景の広がる、自然環境に恵まれた町です。この町に平成19年4月に、姫路市はやしだ交流センター“ゆたりん”がオープンし、現在まで町内は勿論、姫路市全域、また兵庫県内外含め幅広い地域の方々との交流の拠点となっています。

ゆたりん開業同時より兵庫県農政環境部、兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会の御協力も得て、周辺の野山、農業用ため池を活用した里山づくりに着手し、地域の活性化と市民の健康や交流の場として、地元自治会、林田町地域振興組合との協働により、平成23年3月に“林田町里山会”を立ち上げ、その会員（約90名）を中心に活動しております。

活動内容としては、3池周辺里山の遊歩道整備、各種案内板の設置、ハイキングコース設定による定期的なハイキングイベントや講師を招いての自然観察学習会、木工教室、シイタケ栽培体験等で地域内外の皆さんとの交流を図っています。

今回の名誉ある受賞を励みに地道ではありますが、会員一同団結して林田町里山会の活動管理を向上させ一層の発展に努力していききたいと思います。



## かぐや姫・竹林コンサート実行委員会（洲本市）

森林や竹林の中にいるだけで爽快感を感じることは昔から知られています。10年前より有志数人で放置森林・竹林を整備し始めました。するとあまりにも心地よい竹林の空間が出来たので2008年に始めて竹林コンサートを開催しました。

小鳥のさえずり、笹の葉揺れる音など自然と対話しながら聴くコンサートは出演者、観客、スタッフ一同別世界にいる様に感じ、来年も開催をとの要望で、今年で8回目になります。今回は「里山セミナー」と題して地元の物産展と兵庫県で初めて森林浴セラピー基地と認定された宍粟市の講演と、洲本市のメンバー5名による癒しの音楽を演奏して頂きました。森林・竹林の持つパワーを競争社会に身を置く我々のリフレッシュの場として活用出来るようにこれからも大切に守っていきたいと考えています。



森づくりに貢献のあった個人、団体が次の賞を受賞されました。（敬称略）

### 環境大臣表彰

山田の里グリーンクラブ

### ふれあいの森林づくり表彰

けびの森くらぶ

### 兵庫県功労者表彰

小西 一郎（ナシオン創造の森育成会）

### 森林レクリエーション地域美化活動コンクール

緑の環境クラブ

### 環境保全功労者知事表彰

神付・産土の森の会

### 林野庁長官賞

## 平成27年度の活動

### ○平成27年度森林ボランティア講座への協力

県主催で実施されている森林ボランティア講座は、25年度から「入門編」、「中級リーダー養成編」、「上級リーダー養成編」に分けて実施されています。今年度は7月4日を皮切りに11月1日までの期間で8回実施され、当協議会の会員も参加するなど協力を行いました。

入門編では森林ボランティアで活動するにあたっての基本的な知識を得るには最適であり、中級・上級編ではさらにその能力を高めることができます。団体メンバーの方もできるだけ受講されてはいかがでしょうか。

### ○ひょうご森まつり2015への協力(2P参照)

本年度は上郡町の森林体験の森で開催されました。当協議会のブースを設け森林ボランティア団体のPRにつとめました。

### ○ひょうご森の日の行事開催(2P参照)

兵庫県では毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と定め、10月～11月にかけて実施される森林ボランティア団体の一般参加が可能なイベント情報を提供し、県民に広く参加を呼びかけています。本年度は、やしろの森公園の「やしろの森の収穫祭」と共催で、「ひょうご森の日」代表イベントを開催しました。

### ○会員プロフィール集補完集の作成・配布

2013年に発行したプロフィール集から変更があった団体の分を取りまとめて補完集を作成し、森のまつり2015・森の日代表イベントで来場者に配布しました。また、本会報に同封していますので、ご確認ください。

### 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会加入団体

【神戸】特定非営利活動法人 あいな里山茅葺同人、春日台公園里山クラブ、神付・産土の森の会、神戸学園都市高塚山を愛する会、こうべ森の学校、里山倶楽部緑台、紫微嶺里山楽しむ会、特定非営利活動法人 社会還元センター グループわ、特定非営利活動法人 JUONNETWORK、森林ボランティアふじわら山クラブ、とびまつ森の会、特定非営利活動法人 ひょうご森の倶楽部、フォレスト松寿、ブナを植える会、山田の里グリーンクラブ、特定非営利活動法人 豊かな森川海を育てる会、よこおみち森もりの会、六甲山を活用する会

【阪神】芦屋森の会2001、あまがさき山仕事体験隊、川西里山クラブ、菊炭友の会、コミュニティひばり 環境部会、ごもくやさん、里山工房(里山遊び研究会)、三田里山どんぐりくらぶ、ナシオン創造の森 育成会、花実会、大和フォレストクラブ、溪のサクラを守る会、東お多福山草原保全・再生研究会、特定非営利活動法人 ひとくら里山楽校、緑の環境クラブ、森を育む市民団体「もりんちゅうの会」

【東播磨】どんぐり千年の森を作る会

【北播磨】あびき湿原保存会、きすみの森林ボランティア、北はりま地域づくり応援団、ボランティアグループ「未来の家」、みつきい里山クラブ

【中播磨】太市の郷、でるくいわーくす、林田町里山会、特定非営利活動法人 姫路シーマンズクラブ、的形ふるさと里山会

【西播磨】善定里山作りの会、ちくさ自然の会、みはらし会、豊かな心いぼがわ21会

【但馬】秋葉台第四区里山の会、特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム、けびの森くらぶ、白雲山ふれあい森づくり実行委員会

【丹波】丹波おおやま里山オーナー会、丹波の森公苑・里山倶楽部

【淡路】井手里山を守る会、鳥を花と緑で埋める会

計57団体

### 事務局 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
兵庫県農政環境部環境創造局豊かな森づくり課内  
TEL 078-362-3613 Fax 078-362-3954  
会報に関する問い合わせ：桑田 結(Tel.090-3166-9785)



### 「緑の募金」にご協力ください!

公益社団法人兵庫県緑化推進協会

森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地で行っています。

<http://www.hyogo-green.net/>

#### 郵便振込

手数料が不要になる専用の払込取扱票用紙をお送りしますので、(公社)兵庫県緑化推進協会へ直接お問い合わせください。

#### 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所

普通 3198438(振込手数料が必要)

名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

問合わせ：TEL 078(341)4070 FAX 078(341)4071

#### 事務局からのお願い

■当協議会の活動は構成団体のご協力と年会費千円にて運営しています。未納なきよう宜しくお願いします。

■メールで助成金などの情報提供をしています。未登録の団体で、希望される場合は以下のメールアドレスまでご連絡ください。

(担当：豊かな森づくり課 樋口)

yutakanamorizukuri@pref.hyogo.lg.jp

